

指定緊急避難場所・指定避難所

NO	施設名称	所在地	指定緊急避難場所		指定避難所
			地震、地震、土砂災害等	津波	
1	旧大総小学校	木戸台2012	○		○
2	横芝中学校	坂田池3-1	○	○	○
3	横芝小学校	横芝1800	○	○	○
4	文化会館	横芝922-1	○	○	○
5	横芝敬愛高等学校	栗山4508	○	○	○
6	上堺小学校	北清水181	○	○	○
7	日吉小学校	篠本5177	○		○
8	旧南条小学校	小田部1054	○		○
9	町民会館	宮川11907-2	○	○	○
10	町体育館	宮川11905	○	○	○
11	光中学校	宮川5883	○	○	○
12	光小学校	宮川4655	○	○	○
13	白浜小学校	木戸1334	○	○	○
14	テンダーヴィラ九十九里	屋形5025-3		○	
15	セザールマンション	尾垂イ3513-39		○	
16	光楽園老人ホーム	木戸9628-9		○	
17	津波避難タワー	屋形5275-14		○	

防災マップは環境防災課で配布しているほか、町ホームページでも確認できます。

POINT4
避難場所・避難所の確認・
家族の集合場所を決めておく

町では、大きな災害が起こった際に、緊急的に避難し身を守るための場所として指定緊急避難場所を、被災者が一定期間滞在することのできる指定避難所をそれぞれ指定しています。

町では、大きな災害が起こった際に、緊急的に避難し身を守るための場所として指定緊急避難場所を、被災者が一定期間滞在することのできる指定避難所をそれぞれ指定しています。

路の確認や、家族との合流場所を決めておきましょう。

POINT5
平時から食料品等を
備蓄しよう

災害時は物流の停滞や電気・水道等のライフラインの途絶などが想定されます。

また、災害発生直後は一時的な需要の高まりや物流の停滞によって、店頭でも商品不足が起こり、食料品や日用品の調達が困難になります。

町でも災害発生に備え、飲料水や食料、資機材等を備蓄していますが、数量にも限りがあり、すべてを賄えるわけではありません。

普段から各家庭でも少しずつ買い置きし、災害への備えとして、水や食料(最低3日分)、避難生活に必要な生活用品などを備蓄しましょう。

POINT6
持ち出し用避難物資を
準備しよう

避難時に必要な物を、分担して持ち出せるように準備しておきましょう。

また、大きな荷物は避難行動の妨げになる場合があるので、持ち出し品は下表を参考に必要最小限にし、貴重品や日ごろから服用している薬などは、非常持出袋(リュックなど)にまとめて、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

一時避難後に、避難生活が長期化する場合は、被災状況が落ち着いてから、自宅に取りに帰ることも想定しておきましょう。

POINT7
無駄なく備蓄できる
「ローリングストック法」
のすすめ

保存食を備蓄しておくことも大切ですが、普段からよく使用している

非常用持ち出し品の例

食料品	飲料水・乾パン・クッキー・アルファーマー米・カップめん・缶詰など
生活用品	懐中電灯・タオル・毛布・寝袋・歯ブラシ・下着・除菌ウェットティッシュ・せっけん・スリッパ(室内履き)・ごみ袋・乾電池など
情報確認手段	ラジオ・携帯電話充電器
健康管理	マスク・体温計・アルコール消毒液
その他	日ごろから服用している医薬品・ヘルメット・防災ずきん・ゴム手袋など

食材等で賞味期限が少し長めの商品や、日ごろから少し多めに買っておき、賞味期限が近いものから順に使うようにし、使った分だけ補充することで、賞味期限が長く残るものを入れ替えながら、常に一定量の食材を家庭に備蓄しておくことができるようになります。

また、各家庭に少しずつの備蓄があることで、災害直後の店頭での品不足等の混乱を和らげることができ